

男女共同参画 再確認！

一人ひとりが幸せな人生を送れるように

市では、南九州市男女共同参画推進条例に基づいて、男女共同参画社会の実現を目指しています。

あなたは『男女共同参画』って知っていますか？

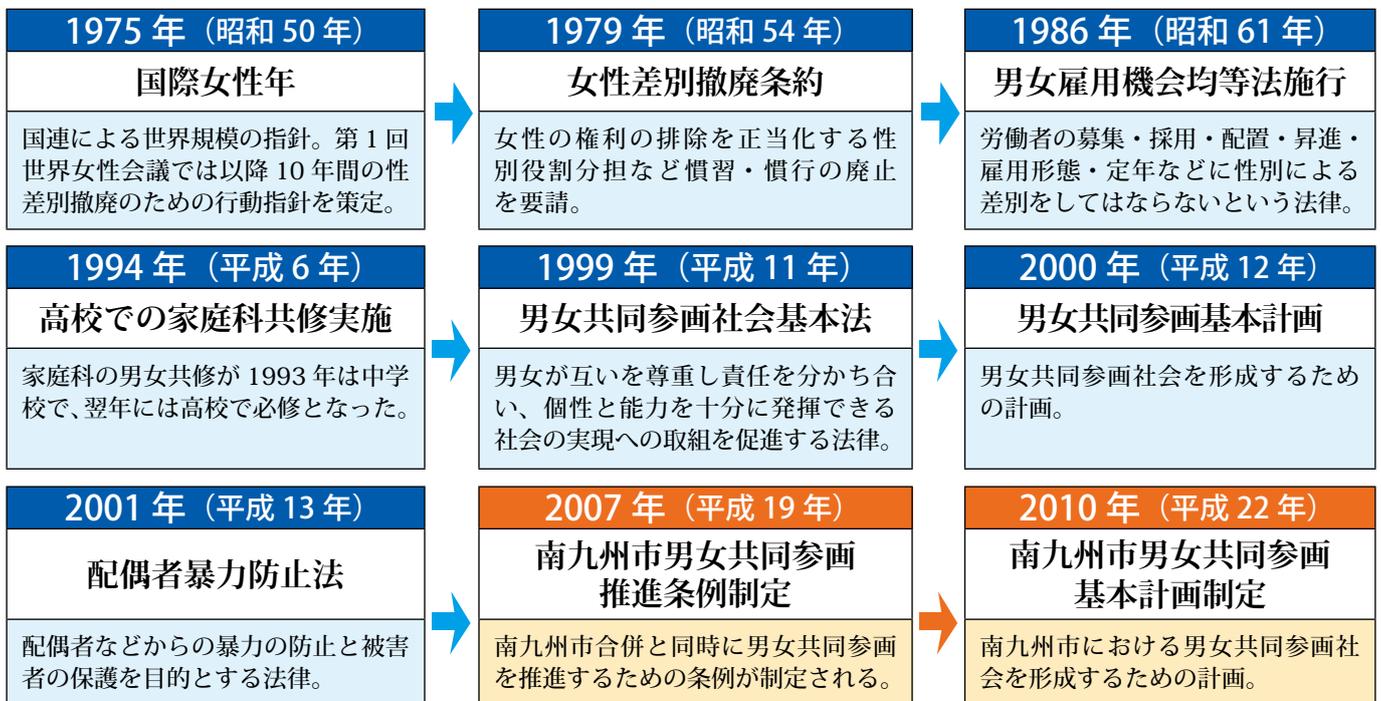


『男女共同参画』とは性別にかかわらず、それぞれの個性と能力を十分に発揮することです。

無意識のうちに、「男だから、女だから」という理由で、我慢してきたことはありませんか。『男女共同参画』は、生物学的に男女には違いがあることを認めた上で、「男だからこうすべき、女だからこうあるべき」といった、性別によって役割を決めつけず、社会全体で見直していこうとするものです。

一人ひとりを認め合い、皆さんが「自分らしく」生きることができる社会を目指しましょう。

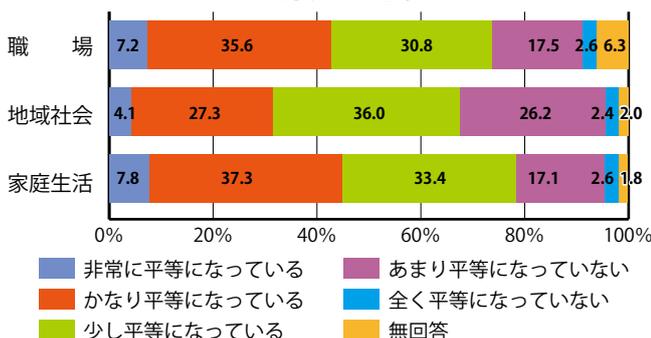
男女共同参画社会へのあゆみ



今年4月に「南九州市男女共同参画基本計画」の達成状況を確認するため、男女共同参画の意識調査を実施しました。その一部について結果をご覧ください。

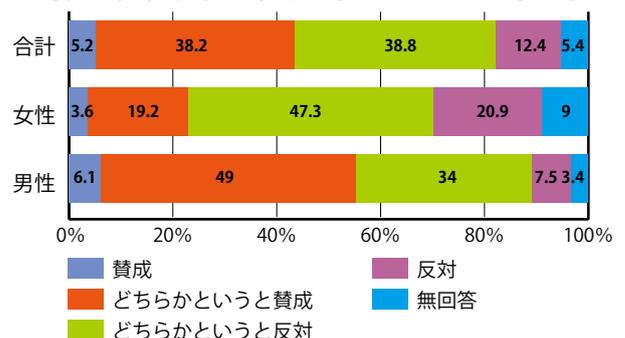
・回答者 461人（農業委員会委員 33人、女性連 36人、市職員 286人、一般市民 106人）

男女の地位



家庭生活・職場に比べて地域社会における平等感が少ないようです。

男性は仕事、女性は家庭を守るべきという考え方は



5割以上の男性が賛成と回答したのに対して、女性は2割強の賛成となっています。

皆さんは、こんな言葉を言われたことはありませんか？

～太郎さん（男性）・花子さん（女性）の例で考えてみましょう～

		太郎さん（男性）	花子さん（女性）	太郎さん、花子さんのつぶやき
誕生		おめでとう！ あととりができたね。	おめでとう！ 次は男の子が欲しいね。	「男らしさ」「女らしさ」は社会の状況や人によってもイメージのとらえ方に違いがあります。「男だからこうするべき」とか「女だからこうするべき」と決めつけることは、一人ひとりの能力や個性を發揮する機会を奪ってしまうのではないのでしょうか。
幼稚園		男の子は泣いちゃだめ！	女の子は優しく可愛くね！	
学校		男の子は力仕事を手伝ってください。	女の子は草取りをしてください。	男の子でも力のない子、女の子でも力のある子がいます。でもつつい男の子＝力仕事と思込んでしまいます。そのことが、「男のくせに」、「女のくせに」との偏見につながっていくのではないのでしょうか。
進路		将来、家を守っていくために進路は真剣に考えなさい。	女の子は4年大学は行かなくていいんじゃない？	誰かのためじゃなく自分の人生を自分で選びたいですね。
職場		男は仕事をバリバリやって当たり前！	女性はどうせ結婚したら辞めるでしょ！	バリバリが当たり前ってプレッシャーかけないで欲しいなあ。 結婚も自分でするかしないか決めるから勝手に決めつけないで欲しいですね。
		子どもが生まれたけど仕事を休むわけにはいかないね。	子どもを預けて仕事なんて大丈夫なの？	男女ともに子どもの育みに関わりたいと願いながらも、男性の長時間労働など、社会のあり方や私たちの意識によって女性に子育ての負担が偏っている状況があります。子育て世帯では、社会の支援を受けながら、家事・育児・仕事を協力して行うことがとても大切です。
		企画力・実行力・リーダーシップがあるのは男性だから頼むぞ！	お茶入れは愛嬌があるから女性がした方がいいよね。	企画力や実行力は男性にだけ備わっているのでしょうか？愛嬌があるのは女性だけですか？性別にかかわらず、それぞれに個性と能力がありますよね。
家庭		仕事に追われて大変だ。でも家族を養わなきゃ。	家事・子育て・介護は妻の役目ね。特に長男の嫁だからしっかりするのよ！	性別役割分担の意識が強いんですね。男の仕事、女の仕事と決めつけず、みんなで協力していきたいですね。
PTA		男だからってことでPTA会長をすることになった。	PTAの会に行くのはいつも母親。母親の役目だもんね。	会長は男性、副会長は女性などと決めているところが多いですね。 南九州市では、今年、女性のPTA会長が誕生しました！
地域		地域の役員は男でないと、まとめることができない。	奉仕活動に行ったのに出不足金（みしん）をとられてしまった。	古くからの慣行によって、男性と女性の役割が固定化されているところがあります。性別や年齢にとらわれず、地域社会の一員として誰もが尊重され、協力しあえる地域にしたいですね。

このように日常の中で、悩んでいる人がたくさんいます。日頃、当たり前と思っていることを、ちょっと立ち止まって考えてみましょう。

頑張っています！



大隣初美さん

平成 21 年度から
鹿児島県男女共同
参画地域推進員を
務める。

「男女共同参画の実現」という言葉を耳にしたとき、大変難しいことと敬遠される方もいらつしゃいますが、基本は、『すべての人が性別にかかわらずなく、その人権が尊重され、家庭・地域・学校・その他の社会のあらゆる分野で平等に参画し、個性と能力を十分に発揮することができる社会づくりをしていきましよう！』というとてもシンプルで当たり前のことなのです。

しかしながら、「男だから、女だから」といった性別による固定的な役割分担意識が依然として根強くはびこっているのが現状です。

私はこれらの解消に向けて、日々の生活の中で、いろいろな組織に啓蒙、啓発し、人材の発掘や審議会などへ女性の登用を積極的に推進しています。

中でも農村女性グループ「野（農）の花の会」では、地域の若手女性の人材育成を行い、女性の政策・方針決定の場への登用を積極的に促しています。

今後も、男女共同参画社会の更なる実現に向け、市民の皆様と一体となり、住民講座などの学習機会の充実を図っていききたいと思います。

※鹿児島県男女共同参画地域推進員は、男女共同参画の基本的な学習を修了した方に鹿児島県が委嘱します。

現在、南九州市では大隣さん1人が委嘱され、市と協働で男女共同参画の推進に取り組んでいます。

相談室、講座などをご活用ください！

詳しくは企画課協働参画係へお問い合わせください。

●男性および女性の悩み相談室を開設しています。

- ・女性の悩み相談室…………… 8/30、9/20、10/18、11/29、12/13、1/17、2/21、3/21
- ・男性の悩み相談室…………… 11/15、2/7

昨年度も 24 件の相談があり、DV や生き方などに悩んでいる方が相談されました。また、男女共同参画は女性のものと考えられがちですが、実は男性にとってもとても大切な問題です。性別によって役割を固定化されている中で、「弱音を吐くべきではない」との思いから仕事と家庭の責任をひとりで抱え込んでしまっていないですか。まずは相談することから始めましょう。(相談は無料、予約制 NPO 法人メンタルケア鹿児島 ☎ 099-223-8137)

●男女共同参画について正しい理解を得るために住民講座を開催

- ・住民講座…………… 「ワタシが選ぶ これからのワタシ」 11/22・29 (開催予定)

《自分の人生は自分で選んでいい。そんな生き方のヒントが…》

「このままの私でいいのかな?」、「何かやりたいけど…」など「私」の中に湧いてくるいろんな気持ち。そんな「私」の気持ちと向き合って、これまでの「私」を大切に、これからの「私」をゆたかに生きるために、「私」が選んで決定する、これからのワタシ!!

●男女共同参画に関わる出前講座

随時、受け付けています! 自治会・職場研修・PTA 研修などにご活用ください。概ね 10 人以上参加できる市内の事業所・団体・グループなどへ男女共同参画にかかわる講師を派遣します。

DV について……暴力を受けているあなたが悪いのではありません

DV

DV (ドメスティック・バイオレンス) とは、配偶者、恋人、同性相手、元配偶者、以前つきあっていた恋人など、親密な関係にある、またはあったものからふるわれる暴力のことです。最近は若いカップルの間で起こるデート DV も深刻な問題となっています。DV は殴る、蹴るなど身体的な暴力だけでなく、精神的な暴力、性的な暴力、経済的な暴力などさまざまな形態が存在します。男女の不平等な関係が社会の根底にあり、暴力を生み出す背景になっています。

特徴

外部からの発見が困難なところで行われることが多いため、被害が深刻化しやすいという特徴があります。

人権侵害

DV は社会的、経済的、肉体的に優位に立つ者が、立場の弱い者をさまざまな暴力で支配しようとする人権侵害行為で、時には命を失うこともある犯罪行為です。



女性に対する暴力根絶に向けたシンボルマーク